

1 くらし

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
安全安心	災害の危険性を認知できていない	・近隣住民と協力して歩くなど、自身でも危険を確認する ・防災アプリの開発 ・防災マップの確認 ・防災の準備の備蓄 ・自治会へ参加	・個人として感じたことをまとめて、発信する。 ・地域版防災マップを作成する ・暗闇安全マップの様な視点で点検	・精密度の高いマップの作製 ・防災マップ作成の専門家の育成 ・出前講座を行う ・小学校で取り組む ・防災マップを活用しやすい形で公開 ・ハイキングタイプの住民参加型防災マップ作り ・災害体験ができる場所を設ける（シュミレーションを作り動画をyoutubeにアップ）
	避難訓練が固い、マンネリ化している	・参加しないなら、自助力を上げる	・イベント化する	・固くならないよう、お祭り感覚で楽しめるイベント化
	地域の防災力	・自助、近助等各自できることを把握する ・保護者が子どもを守るような視線で地域の安全を確認する ・何らかの方法で災害情報を受け取る ・素早く避難する ・水、食料を備蓄する ・声を掛け合う ・ご近所と密に連絡をとる	・防災マップに目を通す ・行政と共に多くの人が参加できる防災訓練を行う ・地域の住民を巻き込んで施策展開する	・映像で災害を知ることができるコンテンツを作る ・川底を深くする
	災害時の情報収集・発信	防災マップ等を確認する	・事前に近所同士の顔合わせ ・近所での声掛け	・日頃から興味を引くような情報発信を行う ・災害情報をピンポイントで発信する ・避難のタイミングと場所を同時に開示 ・ネットでの詳細情報開示 ・ダム放水調節を正しくアナウンスする ・いろいろな情報インフラを活用する ・DMやそのうち要介護者の情報を関係諸機関と共有する
	避難所			・避難所にペット同伴で来られる状況作り ・犬猫等の食料の備蓄 ・防災マップに避難所の設備の状況を加える
	空地		・遊水地の働きを理解する	・空き家を遊水地や公園として活用する
	防犯対策		・クリーンアップ、シニアボランティアを活用する	
	・空き巣被害が多い	・防犯ライトの設置、施錠の徹底	・近所の声の掛け合い ・不審人物の情報共有	
	・子どもを守る地域づくり	・110番の家など積極的に協力する	・子どもや女性の見守り	

1 くらし (続き)

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
住居	ニュータウンの老朽化が進んでおり、活気がない			・空き家、老朽化資産の運用を検討する（建物診断による耐用年数の保証制度やリノベーション業者認定制度の創設など） ・ニュータウン運営のため(株)を立ち上げる
	空き家の状況がわからない	・家の中を片付ける ・普段から将来を考えて行動する ・責任を持って管理する ・登記等、そのままにしておかない ・空き家への知識を高める ・特定事業でNDAを結ぶ ・近隣住民と交流を持つ ・散歩中での空き家の把握	・地域間で交流を持つ ・自治会で空き家を把握する ・郵便局、宅配業者等を利用した街中の空き家把握 ・データベース化して、様々な方法で利用 ・NPOとの協調	・空き家管理組織の立ち上げ及び予算化 ・所有者の確認 ・空き家バンクなどのシステム作り ・空き家の持ち主に対し手紙連絡などの対応 ・空き家購入に対する、市の取り組みをPRする ・インセンティブの整理 ・法的対応 ・条例等で情報収集と開示ができる制度を創設 ・条例等で空き家の隣人が植栽のはみだし部分を処分できるようにする ・高齢化により空き家は増加していくので、早急に取り組む
	北部に空き家が多い			・昔選ばれていたが、今選ばれない理由を調査する
	市に不動産の知識があることを知らない			・市役所、キセラ、市民プラザ等に「住宅相談センター」を作る
交通	車の渋滞が多い	・移動の際に公共交通機関、自転車を利用	・相乗りを推進	
	交通事故	・信号を守る ・横断歩道を使う	・小学生等の通学時に見守り隊を立てる	・運転免許、更新基準を作る ・信号機、横断歩道の適正な配置
	自転車マナーを守ることができていない	・自転車マナーを見直す	・違反しないような雰囲気づくり	・注意喚起
	公共交通の利用者減少	・公共交通の利用 ・お得な制度がないか調べる	・能勢電に愛称をつける ・北部の住民で思いをまとめる	・「バス＋電車」のセット料金で考える ・能勢電の利用者が少ない理由を確認 ・利用が増えるよう運賃値下げを要請する
	・バスの本数が少ない、利用しない	・車を使わずバスを使う	・路線図等サービスを充実させる	・本数を増やす ・料金について適正化で利用しやすくするよう要請する
	能勢電鉄の古い駅の設備改善	・電車を利用する	・設備の不満の声を市に挙げる	・利用客のニーズに応じて工事、改善
	市民向け交通機関		・お店が家に来る（買い物支援）	・駅前まで行く車が家の前までくるようにする（予約制も可）
	駅前の不正駐輪が多い	・気づいたら声掛け・注意する ・自身がルールを守る ・駐輪場の場所を把握 ・押し込んでロックをかける	・不正駐輪が迷惑であることを周知する ・駅からの距離に応じて値段を変える等の検討を行う ・他の駐輪場を提示する	・不正駐輪者に罰金がかかる条例を作る ・不正駐輪を見回り者が撤収できるようにする
	⑧車の運転手の交通ルールが悪い	・歩行者が十分注意する ・子どもにも教育する	・駅前だけでなく、他の場所でも抜き打ちで取り締まりを行う	・市民の声を受け、実施すべき場所を選定

1 くらし（続き）

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
遊び場	遊具が充実した公園が少ない	・自宅から通える公園を把握する	・公園を利用するニーズを増やす	・大小さまざまな遊具の設置 ・市内の公園の見直し（利用の少ない公園を減らし、人気の公園の遊具を充実）
	公園管理	・ゴミを拾う		・全ての公園をきれいにする
	子育て世帯が家族で出かけられるスポットが少ない	・市内で家族で楽しめる施設を確認し、市内でお金を使う	・子どもの遊べる施設の美化、マナーの見直し	・人気外食店舗の誘致
	スポーツが可能な場所（テニス・バスケットコート）	・場所を友人、知人に伝える	・地図や場所を示すものを作る	・ラケットやボールの貸し出し
健康・医療	どこの病院に行けばいいかわからない	・色んな病院を調べる ・口コミ投稿等で情報共有を図る	・病院側として、予約や待ち時間を提示する	・待ち時間、特長、口コミ等を集めたサイトの管理（病院ナビ）
施設	閉園した幼稚園の活用	・開放してほしいと訴える	・時間開放	・遊具の安全を確認し、地域へ開放
税・使用料	水道料金が安い	・節水		・多数の市民の声を取り上げてほしい
美化	道が汚い	・ポイ捨てをしない	・週に一度掃除を行う	・注意喚起

（意見）

- ・【安全安心】京都の祇園祭は後祭の日に火災訓練をしていた。地域力の違いを感じた。
- ・【安全安心】東日本大震災経験者は避難訓練の際にヘルメットを持参していた。危機感の違いを感じた。
- ・【安全安心】災害時の避難情報はどの地域団体に情報を流しているのか
- ・【安全安心】生垣を助成するような補助、駐車場に保水性を持たせる義務等を設けてもいいのではないか
- ・【住居】空き家が増えている根本的な原因がわからない
- ・【交通】能勢電の時差回数券を安くすれば乗る人も増えるのではないか
- ・【交通】バスと鉄道で住み分けができないか（北部からのバスは川西能勢口まで走らずに、手前の駅で降ろし、そこから能勢電など）
- ・【交通】ラッシュアワー時以外、バスを小さくしてはどうか
- ・北部の生活がしにくくなっている
市民病院と商業施設がキセラに移り、ますます住みにくくなるため、市が対策を考えているなら知らせてほしい

2 魅力

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
愛着	川西が一番住みたいと考えるまちになっていない			・川西でやって他市でやっていないことをアピールする

（意見）

- ・川西に住みたいと思っている声を聴くが、家を買うにはハードルが高い。また、能勢電は不便
- ・取り組みアイデア...「子育てに優しい街：大人まで医療費無償化」「住みやすい街：家を買う初期費用を減らす（リフォーム代ではなく）」

3 情報

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
市の方針	将来のまち(ニュータウン)の目指す規模がわからない			・まちに対するコンセプトを定め、対策を講じる(ニュータウンで実験的に施策を実施し、広めていく)
	まちの指針がわからない	・市民会議への参加		・市の方向性が良くわからないので明示する
公開・広報	自分の住んでいる地域の情報(取組・課題)に詳しくない	・市広報等を確認する	・課題や背景、原因を明らかにする勉強ができる場を設ける ・提案できるものは提案する	・目標に対してできたこと、出来なかったことを広報する。
	市の情報発信能力が弱い	・不思議に思ったら検索する ・アンテナを広くする ・広報誌を読む	・市の持っている情報を見られる方法を持つ	・情報は色々な場所に掲示し、細かな場所にもアピールする。 ・情報は今まで通り発信していく ・情報発信の改善をアンケートで受け付ける ・興味を持った情報を調べる仕組みを作る
	・川西市の魅力が知られていない(市内外)	・魅力の発信 ・寝に帰るだけでなく、地域のことを知るようにする		・HPを作るだけでなく、活用しやすい情報を集約し、閲覧状況の把握・周知を行う(グリーンハイツ自治会ホームページは見やすい)。
	情報発信の平等性		・自治会への興味を持ってもらうようにする	・自治会を通じなくても確実に情報を得られるようにする。

(意見)

- ・近畿圏の周辺市町の人口はどう変化しているのか、衛星都市の今後の推計はどう考えているのか
- ・どんな方が川西市に移ってくるのか知りたい

4 教育・子育て

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
いじめ・不登校	いじめ・虐待問題	・家族、近所の方々とかわりを持つ ・自治会に入る、参加を促す ・おかしい点があれば、躊躇せず市へ連絡	・市からの情報で多くの人が見守る	・学校、地域と協力し、事実確認、観察する ・電話だけでなく、メールでも受け付ける
交通	市内高等学校へのアクセスが悪い	・スクールバスを高校側に要望		
質	英語教育		外国人を集める	特区を作る
子育て	乳幼児健診の効率が悪い	・プレイルームや公園等で情報収集する ・実現可能な改善提案を行う	・効率の良い進め方を検討する	・歯科検診がスムーズなので、見学するなど、横のつながりを利用して意識改革を行う

5 地域

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
つながり	地域交流が不足している	・近所の方にあいさつ、声掛け ・自治会加入 ・近隣住民と話す機会を増やす	・参加しやすいイベントの計画	・自主性に任せるのではなく、会社・組織の立ち上げ等 運営基盤の改革
	自治会の運営	・自治会への参加	・高齢者による私物化されない自治会 運営 ・地域活性イベントの推進	
	自治会の存在を知らない、入り 方を知らない			
	ゴミ捨て場に車が止まっている	・注意喚起する	・注意喚起する	・注意喚起資料を作る
	自治会員未加入者への支援 (意見が反映されていない)		・自治会未加入者でも参加できる行事 を行う ・自治会の動きをPRし、民意が出せる ように工夫する	・自治会未加入者への支援の仕組みづくり ・自治会に民意を上げる啓蒙をしていく

(意見)

- ・自治会が何をしているかわからない
- ・自治会はだれでも加入できるのか。加入条件があるのかかわからない。
- ・自治会に入らない人の理由は何か
- ・そもそも若い人にメリットはあるのか
- ・自治会未加入者などの地域とのかかわりが少ない方の不安や不足している部分を周知することで、多くの意見が集まるのではないか。
- ・自治会の入り方の一般例を知りたい。

6 その他

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
その他	自然を活かせていない		・子どもと一緒に川を定期的に掃除する	・自然のある住宅地を前面に出す ・漁業組合復活に協力する
	政治に興味がない(意識が低い)			
	選挙のネット投票ができない			